

特定非営利活動法人 ^{テディック} **TEDIC** [宮城県推薦] (宮城県石巻市)

<https://www.tedic.jp/>

代表者名：門馬 優 団体構成員数：31名

TEDICは、東日本大震災直後から石巻市でボランティア活動を行っていた若者たちにより、平成23年5月に同市で、貧困、いじめ、ネグレクト、虐待等、困難な環境におかれた子供を支援し、全ての子供が「生きてて良かった」と思える社会をつくるため、設立されました。

生活困窮状態にある世帯の子供を対象とした学習支援と夕食提供が一体となった夜の居場所づくり活動「トワイライトスペース事業」を展開し、子供の居場所づくり、アウトリーチによる支援、生活支援などの包括的な支援を関係機関や地域の人たちとともに提供しています。

困難を有する子供たちの支援策として実施している活動は、フリースクール事業（ホットスペース石巻）、子供食堂と幅広く、複数の場所で運営されており、事業を利用している子供やその保護者の満足度は高いといわれています。

地域の多様な主体と協調し、子供の課題解決を目指すその姿は、今後の青少年の活動を考える上で、大変参考となるものです。



学習支援の様子



子供食堂の様子



「地域支援者研修講座」の様子



ボランティアの集合写真

■選考委員のコメント

震災を機に立ち上がった若者たちが、様々な課題を抱える子供たちを支え、地域の多様な主体を巻き込み、その活動を社会的事業まで引き上げる姿は、子供・若者に関する課題が多い日本において、今後活躍を期待する若者とはどのような存在なのかについて具体的なイメージを与えてくれます。

[受賞者からのひと言]

この度は、平成29年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」内閣総理大臣賞に選んで頂き、誠にありがとうございました。

私たちの活動の原点は、「震災がきて、救われた」というある男の子の言葉です。

震災以前から、経済的困窮、精神疾患、不登校、家庭内暴力、非行など多重に困難を有する状況につながっていた彼は、震災があった“おかげ”で、現地

に入ったNPOと出会い、支援につながることができました。

「苦しい」「つらい」そんな思いを抱えながら、声もあげられずに追い詰められている子供・若者が地域にいるという事実。彼らをなんとか支えたい、絶対に諦めないという思いを再確認させていただいた表彰でした。

これからも、思いを真っ直ぐに活動を続けて参りたいと思います。



表彰状の授与